避難者受け入れ手順

用し、記入を促す。非接触型体温計で検温し体温を記 身体的距離の確保→2m(最低 1m)の明示

避難者受付





飛沫感染防止カーテンを設置





「避難者健康調査票」に記入



必要なPPEは?

標準予防策

物品、器具

接触予防策

汚染の可能性のある範囲すべて

患者とその周囲だけ

目の前の患者の



エプロン or ガウン

フェイスシールド

マスク

ゴーグル

PPEに関して、 具体的にはどうすればよい?

□右の個人防護具PPEから選 んで身に着ける。

□ 暴露されると予測される身体 の箇所を守れるPPEを選ぶ。



個人防護具の着脱方法



ガウンのあちこちに触れないように 静かに広げ、頭から被る 袖を通し、先端の穴に親指を通す



腰ひもは後ろ でゆったりと 結ぶ 適正量をしっかり確保



手袋の外し方 ・手袋の外側をつまみ外側

- が内側になるように外す ・外した手袋は、手袋をして いる手で持つ ・手袋の袖口から指先を滑
- り込ませ、内側から外す



PPEの着脱順序

ポイントは一番汚染される手袋を







肩から脱ぎおろす。ガウン内側 を掴みながら片袖ずつ脱ぐ



受付の流れ

・避難者へマスク着用、アルコール消毒を促す

・避難者に「避難者体調チェックシート」を配布

・事前受付で健康な人と発熱・体調不良者の確認

・「避難者健康調査票」を配布。 クリックボード等を活

載。クリップボードを共用する場合は使用毎に消毒。 有症状者等専用スペースに誘導時に動線を分ける

サージカルマスク ・鼻から顎までしっかり覆う。エアロゾル

発生懸念の場合は、N95マスク装着 マスクのゴム紐を持って外す



三田市避難行動要支援者支援制度では、リーフレッ トが配布され、各地域の活動状況が伝えられました



マスク、咳エチケットの徹底→マスク着用呼びかけ

・避難所職員の感染対策→適切な個人防護具の着用

・適切な消毒→受付、出入口等の手指消毒剤の設置

・避難所の清潔→共用部の消毒、避難所ルール順守

→身体的距離を確保した居住空間。30 分に 1 回換気

一般避難者と有症状者の避難場所の分離

・密集・密接・密閉空間を避ける



2つの衣装ケースに収められた新型コロナウイルス感 染症対応物資と、注意喚起パンフレット等の解説



防災セットのダイナモ LED ライト・ラジオを 手回しで充電中です

後に着けて、最初に外す!

[外すとき]

ガウン・エプロン

ゴーグル・ フェイスシールド





サイズは全て 4.4 ㎡ 高さは選べる 3 種類

①ダンボールベッド





【セット内容】



段ボール箱×24



天板×2







step.1 段ボールを組立てます

これを24個作ります

お届け時のサイズ

縦34×横109×幅34cm





6個の枠を2列3行で並べます 最後に天板2枚を重ねます

わずか10分で完成!! 4分

お手持ちのベッドマットや寝袋を敷いてお使いください。

Jパックス株式会社 暖段はこベッド M2型組み立て動画 https://www.youtube.com/watch?v=NHkXk84-PxM





ダンボールベッドのメリット

1.「エコ/ミー症候群」の予防になる

寝返いかしやすくなったい腰を掛けたいといった動きが生じる

2.「ホコリ」の吸引防止に役立つ

防止するには、一般的に床から 30 センチ以上離れる必要あり パーテーション仕切で、飛沫感染リスクの低減、プライバシー確保

3.「いびき・足音」等の騒音を防ぐ

ダンボールがクッションの役目

- 4. 冬は空気の層により 比較的「暖かり」
- 5. 腰掛けることで「椅子」に変身
- 6. ダンボールに私物を「収納」し安心
- 7. 仮設住宅・自宅への「移動」に便利

ダンボールベッドのデメリット

- 1. ダンボール製なので、保管場所の環境により劣 化する可能性があります
- 2. ダンボール製なので長期間での使用はあまり向

②ワンタッチ・パーテーション ファミリールーム



https://www.youtube.com/watch?v=TKZgHIZvStg&t=2s

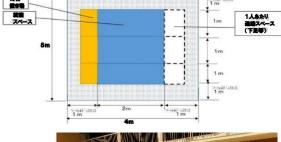
ニード社 WT-180 組立て・収納動画







【兵庫県における標準的な目安】 〇世帯ごとの間隔:身体的距離(できるだけ2m(最低1m))を確保 ・避難者一人あたりの居住面積: 3㎡以上 ※標準世帯あたりの居住面積:3㎡/人以上×3人=9㎡以上 身体的距離 世帯区分 居住面積 世帯の必要面積 共有部分面積 3人世帯 11m 20m (5m×4m)















避難所の広さや状況に応じて パーティションタイプを選択



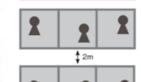


■ 簡易パーティション









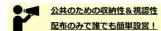
1人当たりのスペースは4㎡以上を確保

③防災ルーム























タイムキーパー

















武庫小校区地域防災訓練タイムスケジュール

8:45		
	武庫小学校への避難訓練	各自治会
9:00	避難者受付/健康チェック	全員
9:15	挨拶/訓練説明	実行委員長
9:20	兵庫県住宅再建共済制度 (フェニックス共済)の説明	兵庫県阪神北県民局
9.30		·

	実技訓練と展	示品説明を、	時間を区切っ	てローテーショ	ンで実施		
ľ	グループA		В		С		
9:30	A-1	A-2	B-1	B-2	C-1	C-2	
9.30			ワンタッチ	APS	101 ## ## 172 7 F MF	感染症対応物資	
9:50	個人防護具の着脱方法		パーテーション	ダンボールベッド	赵 類 白 文 八 于 順	非常持出品	
9.00	10人 的 茂 只		M2 M2 11 M2 11 12	ワンタッチ	感染症対応物資	**************************************	
10:10			ダンボールベッド	パーテーション	非常持出品	避難者受入手順	
10:10	では出来なっている	感染症対応物資			ワンタッチ パーテーション	ダンボールベッド	
10:30	避難者受入手順	非常持出品	伸伸排目	の 羊 昭士は			
10:30	感染症対応物資	かまままのうては	個人防護具の着脱方法		ダンボールベッド	ワンタッチ	
10:50	非常持出品	避難者受入手順				パーテーション	
10:50	ワンタッチ	APS	₩₩★₩3.¥₩ 感染症対応物資		個人防護具の着脱方法		
11:10	パーテーション	ダンボールベッド避難者受入手順		非常持出品			
11.10		感染症対応物資	避難者受入手順				
11:30	メンホールベット	パーテーション	非常持出品	赵翔 白文人于眼			

11:10					
11.10	グンボールベッド	ワンタッチ	感染症対応物資	避難者受入手順	個人防護具の看脫万法
11:30	X 70. 10. 17.	パーテーション	非常持出品	赶接省文八丁顺	
11:30					
11:40		講評、挨拶	K 7	連合自治会長	:
12:00	炊き出	し(受け渡	し)訓練	全員	
12:00	解散				

主催:武庫小校区地域防災訓練実行委員会

共催:武庫小校区まちづくり連絡協議会、武庫小校区連合自治会 協力:三田市危機管理課・三田市消防本部・さんだ防災リーダーの会 三田市立武庫小学校,兵庫県阪神北県民局







防災マップ





(1) 一人ひとりの基本的感染対策 感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い □人との間隔は、できるだけ2m (最低1m) 空ける。
□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
□外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
□家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
□手法いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)。 ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。 □感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。□発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。 □地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに<u>手洗い・手指消毒</u> □咳エチケットの徹底 □こまめに換気(エアコン併用で室温を28°C以下に) □身体的距離の確保 □ 「3 密」の回避(密集、密接、密閉) □一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行 □ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

■い物 □通販も利用 □ 1 人または少人数ですいた時間に □電子決済の利用 □計画をたてて素単く済ます	公共交通機関の利用 □会話は控えめに □混んでいる時間帯は避けて □徒歩や自転車利用も併用する		
口計画をたてて素早く済まり ロサンブルなど展示品への接触は控えめに ロレジに並ぶときは、前後にスペース	食事 □持ち帰りや出前、デリバリーも		
操業、スポーツ等 □公園はすいた時間、場所を選ぶ □筋トレやヨガは、十分に入との間隔を もしくは自宅で動画を活用 ロジョギングは少人数で	□屋外空間で気持ちよく □大皿は避けて、料理は個々に □対面ではなく横並びで座ろう □料理に集中、おしゃべりは控えめに □お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて		
□すれ違うときは距離をとるマナー □予約制を利用してゆったりと □狭い部屋での長居は無用 □歌や応援は、十分な距離かオンライン	イベント等への参加 □接触確認アプリの活用を □発熱や風邪の症状がある場合は参加しない		

ロテレワークやローテーション勤務 口時差通動でゆったりと ロオフィスはひろびろと □会議はオンライン □対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

武庫小校区地域防災訓練会場配置図

